



Microsoft Dynamics 365
(オンプレミス)
ライセンス ガイド

2019 年 1 月

目次

このガイドの使用について.....	1
Dynamics 365 (オンプレミス) の概要.....	1
ライセンスの基本要件.....	1
ライセンス プログラム.....	6
言語別の提供状況.....	6
Dynamics 365 (オンプレミス) ライセンスの種類.....	7
カスタム エンティティ.....	7
Dynamics 365 (オンプレミス) のアプリケーション.....	8
追加サービスとソフトウェア.....	11
トライアル.....	11
ソフトウェア アシュアランス.....	12
製品の展開.....	12
オンプレミス版のアップグレード、ダウングレード、移行.....	14
オンプレミス環境からクラウド環境への移行.....	14
追加情報へのリンク.....	17
付録 A: CAL に含まれる使用权.....	18
付録 B: 変更履歴.....	21

このガイドの使用について

このガイドは、Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンスについて理解を深めることを目的としています。Dynamics 365 (オンプレミス) は、マイクロソフトが現在提供しているオンプレミス版 CRM ソリューションの最新バージョンであり、特定のビジネス機能の運営に役立つ用途別の最新アプリケーションを利用できます。各 Dynamics 365 (オンプレミス) アプリケーションは、簡単かつ個別に導入できるように設計されています。お客様は必要なサービスから利用を開始できますが、アプリケーションは互いに連携しているため、ビジネス上必要に応じて追加の機能を簡単に導入することができます。

このドキュメントの内容は、Microsoft Dynamics NAV、Microsoft Dynamics GP、Microsoft Dynamics SL、Microsoft Dynamics AX 2012、Microsoft Dynamics CRM 2016 のいずれにも、またそれ以前のバージョンにも適用されません。Microsoft Dynamic CRM Online または Microsoft Dynamics AX クラウド サービスも対象外です。このドキュメントは Microsoft Dynamics 製品やサービスの選択に影響を与えることを意図したものではありません。ここで取り上げる例は説明のみを目的としています。マイクロソフトは予告なくいつでもこのドキュメントの見直しや更新を行う権利を留保しています。

既に Dynamics CRM のライセンスをご利用中の場合、利用資格とユーザー権限の詳細については「[Microsoft Dynamics CRM ライセンス ガイド](#)」を参照してください。Dynamics CRM のお客様は、ソフトウェア アシュアランス特典として Dynamics 365 (オンプレミス) 関連の技術アップグレード制度を利用できますが、ユーザー権限については引き続き「Dynamics CRM ライセンス ガイド」の規定が適用されます。このドキュメントの内容は、Dynamics 365 ライセンスを取得したユーザーのみが対象です。

個々の製品やシナリオにおけるライセンス要件など、特定の組織にとって適切なテクノロジー ソリューションを確認するには、マイクロソフト アカウント チームまたは Microsoft Dynamics 認定パートナーにご相談ください。

このガイドは、使用権について規定するいかなる法的ドキュメントにも優先するものではなく、また、これらに置き換わるものでもありません。

Dynamics 365 (オンプレミス) の概要

Dynamics 365 は、クラウド内で提供される次世代のインテリジェント ビジネス アプリケーションです。Dynamics 365 (オンプレミス) には各種の CRM 機能と ERP 機能が統合されており、フル ユーザーには、Dynamics 365 for Sales (オンプレミス) や Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス) といった、特定のビジネス機能の運営に役立つ用途別の最新アプリケーションが提供されます。また、ライト ユーザー向けに基本機能のみを備えた Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス) というアプリケーションも用意されています。

ライセンスの基本要件

ソフトウェアの導入にあたり、Dynamics 365 (オンプレミス) では "サーバー + CAL (クライアント アクセス ライセンス)" ライセンス モデルを使用します。このモデルでは、ソフトウェアを実行するサーバーと、ソリューションにアクセスするユーザーやデバイス の両方に対してライセンスを取得する必要があります。

Dynamics 365 (オンプレミス) の場合、Dynamics 365 の CAL を購入すると、サーバー ライセンスも付属しています。

サーバー ライセンス

Dynamics 365 (オンプレミス) で提供するサーバーのエディションは次の 1 種類のみです。

Dynamics 365 Server

Dynamics 365 (オンプレミス) のサーバー ソフトウェアは、2016 年 12 月更新プログラムを適用済みの Dynamics 365 Server です。このサーバーは豊富な機能を備え、マルチテナント環境をサポートしています。このサーバー ライセンスは Dynamics 365 (オンプレミス) の CAL を購入することで入手可能です。CAL を追加購入すればいつでも新たなユーザーを追加でき、サーバーにアクセスできるユーザー数に制限はありません。ユーザー数の上限は、サーバーのキャパシティに応じて決まります。

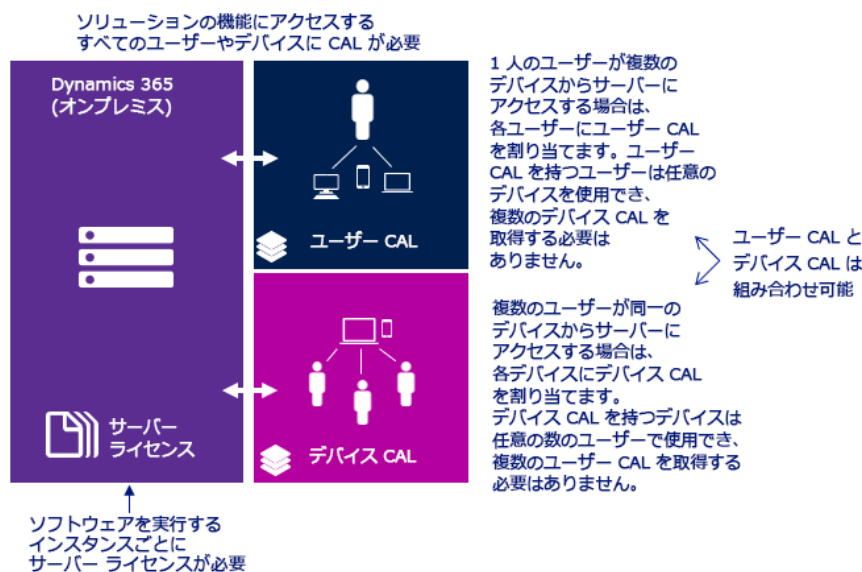
サーバー ライセンスと CAL

Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) のすべてのお客様は次のライセンスを取得する必要があります。

- サーバーで実行する Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアのライセンス: Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) の CAL (クライアント アクセス ライセンス) に付属
- ユーザーまたはデバイスによる Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアへのアクセス: CAL を通じてライセンスを取得

Dynamics 365 (オンプレミス) Server は豊富な機能を備え、マルチテナント環境をサポートしています。このサーバー ソフトウェアにマルチテナント環境でアクセスする場合、ユーザーまたはデバイス用の Dynamics 365 (オンプレミス) CAL を購入する必要があります。

図 1: サーバー + CAL ライセンスモデル



内部ユーザーのライセンス要件

Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) にアクセスするためのライセンスを取得するには、Dynamics 365 (オンプレミス) のサーバー ソフトウェア、ファイル、データ コンテンツのほか、"Dynamics 365 (オンプレミス) の機能" のいずれかに、直接的または間接的にアクセスする内部ユーザー 1 人につき 1 件の CAL を購入します。

"Dynamics 365 (オンプレミス) の機能" とは、データの表示、操作、入力、クエリなど、ユーザーが "ライブ データ" を構成できる Dynamics 365 (オンプレミス) の任意のサービスまたは機能を指します。"ライブ データ" とは、ユーザーの操作によって Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) との間で動的に書き込み、読み取り、同期される情報です。

製品にアクセスするのが直接的か間接的にかかわらず、内部ユーザーには適切なクライアント アクセス ライセンスを割り当てる必要があります。

Dynamics 365 (オンプレミス) には次の 2 種類の CAL があります。

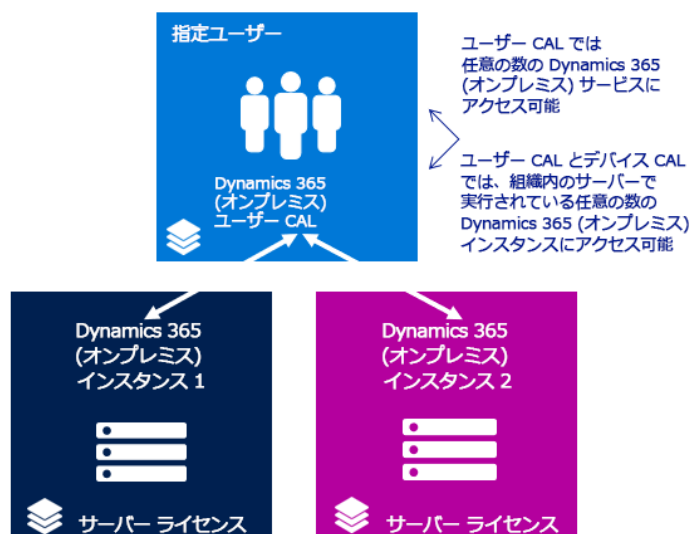
- ユーザー CAL: "指定ユーザー" ごとに割り当てられるライセンスで、ユーザーごとに個別の CAL が必要です。ユーザー CAL を共有することはできませんが、ユーザー CAL を持つユーザーは複数のデバイスからサービスにアクセスでき、デバイス CAL を個別に購入する必要はありません。ユーザー CAL の購入が適している状況としては、従業員が不特定多数のデバイスを通じ、ローミングを使用して企業ネットワークにアクセスする場合が考えられます。また単純に、組織内のユーザー数がデバイス数より多い場合も該当します。
- デバイス CAL: デバイスにアクセス権を付与するライセンスです。このライセンスを割り当てたデバイスは任意のユーザーが使用でき、別途ユーザー CAL は必要ありません。複数の人員でデバイスを共有している場合 (シフト制の業務など) は、コストと管理の両方の観点でデバイス CAL の方が有利になることがあります。

デバイス CAL とユーザー CAL は、ソフトウェア アシュアランスの更新時に相互に交換できます。

CAL を割り当てられたユーザーやデバイスは、組織内のサーバー上で実行されている Dynamics 365 (オンプレミス) または旧バージョンの任意の数のインスタンスにアクセスできます。

注: CAL が必要なのはユーザーまたはデバイスの "いずれか一方" であり、両方を取得する必要はありません。たとえば、あるデバイスのユーザーに CAL が割り当てられている場合、使用するデバイスにデバイス CAL は "不要" です。同様に、使用するデバイスにデバイス CAL が割り当てられていれば、ユーザー自身の CAL は "不要" です。同一環境内では、ユーザー CAL とデバイス CAL を組み合わせて使用できます。

図 2: 複数のインスタンスへのアクセス



外部ユーザーのライセンス要件

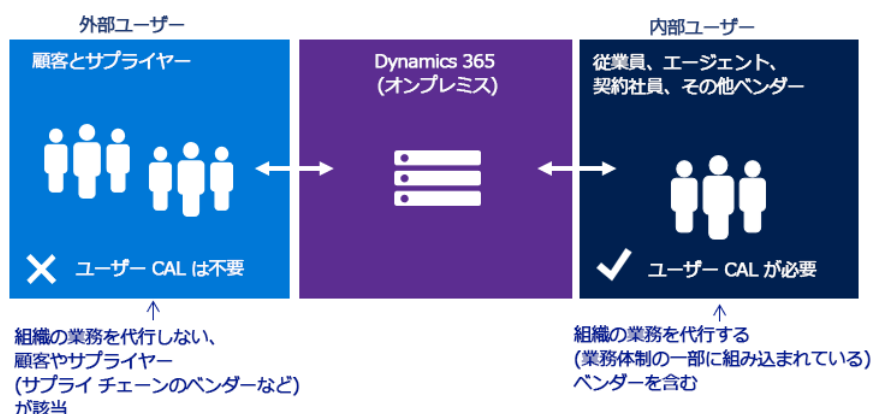
外部ユーザーとは、自社または関連会社から見たエンド カスタマーやサードパーティ ユーザーを指し、CAL (クライアント アクセス ライセンス) なしで Dynamics 365 にアクセスできます。外部ユーザーのアクセス権は、組織の内部ユーザーの CAL に含まれます。ただし、Dynamics 365 (オンプレミス) のクライアント アプリケーションや GUI (グラフィカル ユーザー インターフェイス) にはアクセスできません。

また、組織やその関連会社に対して雇用と見られる関係性を持たないオフサイトのベンダー (複数の顧客組織にサービスを提供している IT ヘルプ デスク サポート ベンダーなど) も外部ユーザーに含まれます。

ただし、お客様に代わってビジネス プロセスを実行したり、Dynamics 365 を使用して何らかの業務

を管理したりする自社または関連会社の契約社員、ベンダー、エージェントは、外部ユーザーには定義されません。よって、Dynamics 365 を使用して、顧客にビジネス プロセス アウトソーシング サービスを提供することはできません。

図 3: 内部ユーザーと外部ユーザー



マルチプレキシング (多重化)

マルチプレキシングとは、お客様がハードウェアまたはソフトウェアを使用する際、接続をプールして情報の経路を変更し、Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアに直接アクセスするデバイスやユーザーの数を減らすことを指します。マルチプレキシングを行っても、Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアへのアクセスに必要な CAL の数を減らすことは**できません**。直接的か間接的かを問わず、Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアにアクセスするすべてのユーザーやデバイスには適切なライセンスが必要になります。

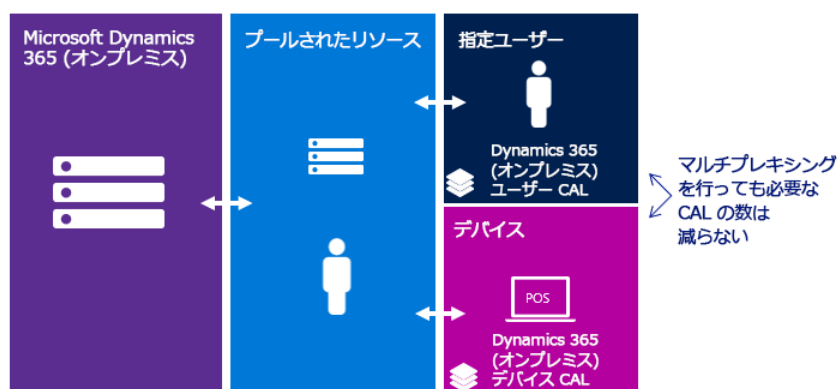
Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアに直接、データの入力、クエリ、参照を実行するユーザーやデバイスには、Dynamics 365 (オンプレミス) CAL が必要です。同様に、プールされたデバイス経由で Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアにデータの入力、クエリ、参照を実行する場合にも、ユーザーやデバイスは Dynamics 365 (オンプレミス) CAL を必要とします。プールされた接続からは、非対話型ユーザー アカウントを使用して Dynamics 365 (オンプレミス) にアクセスします。この場合、システムへのアクセスには Web サービス レイヤーのみが使用されます。内部のユーザーやデバイスが、ポータル経由または別のサービス (Microsoft Outlook など) の API 経由で Dynamics 365 (オンプレミス) のデータに間接的にアクセスする場合でも、サービス内で Dynamics 365 (オンプレミス) ユーザーとして設定されているかどうかにかかわらず、次の例のように適切なライセンスが必要です。

- 自動化されたプロセスの一環として利用可能となるソフトウェアがあり、そのソフトウェア経由で Dynamics 365 (オンプレミス) のサービスやファイル、データ、コンテンツにアクセスする場合、アクセス元のすべてのユーザーやデバイスに Dynamics 365 (オンプレミス) CAL が必要です。
- Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアと、そのデータ、サービス、機能を最終的に利用するユーザーやデバイスとの間に複数階層のハードウェアまたはソフトウェアが介在していても、階層の数は必要となる CAL の数には影響しません。

マルチプレキシングの詳細については、「マイクロソフト ボリューム ライセンス簡易ガイド」の[マルチプレキシング \(多重化\) - クライアント アクセス ライセンス \(CAL\) の要件](#)を参照してください。

注: ライセンスを取得済みのユーザーは、(ライセンスを取得していないユーザーからの) 情報を Dynamics 365 (オンプレミス) ソフトウェアに手作業で再入力できます。このような利用方法はマルチプレキシングとは見なされません。

図 4: マルチプレキシング (多重化)



デュアル ユースの権利

Dynamics 365 の長所の 1 つは、デュアル ユースの権利です。この権利により、サーバー ソフトウェアをマイクロソフトのクラウド内で運用するか、オンプレミスまたはパートナーがホストするプライベート クラウド内で運用するかを選択できます。場合によって、お客様はオンプレミスとクラウドの 2 種類のインスタンスを同時に運用しなければならないことがあります。たとえば、オンプレミスの Dynamics 365 環境を Dynamics 365 に移行し、プライベートの開発/テスト環境を Microsoft Azure 上で運営する場合などです。

デュアル ユースの権利は、Dynamics 365 (オンプレミス) サーバー ライセンスが備えるアクセス権を、Dynamics 365 サブスクリプション ライセンス (SL) に供与するためのしくみです。その逆として、Dynamics 365 SL のみに与えられるアクセス権を Dynamics 365 (オンプレミス) CAL に適用することはできません。また、デュアル ユースの権利は、Dynamics CAL と Dynamics 365 SL の両方に、同等の機能を約束するものでもありません。

Dynamics 365 ユーザー サブスクリプション ライセンス (ユーザー SL) を割り当てたユーザーやデバイスには CAL と同等の使用権が付与されるため、オンプレミスの機能へのアクセスが可能です。Dynamics 365 の SL には Dynamics 365 (オンプレミス) サーバー ライセンスが含まれています。ただし、関連するすべてのサーバーのライセンス (例: Windows Server や CAL) は、別途取得する必要があります。

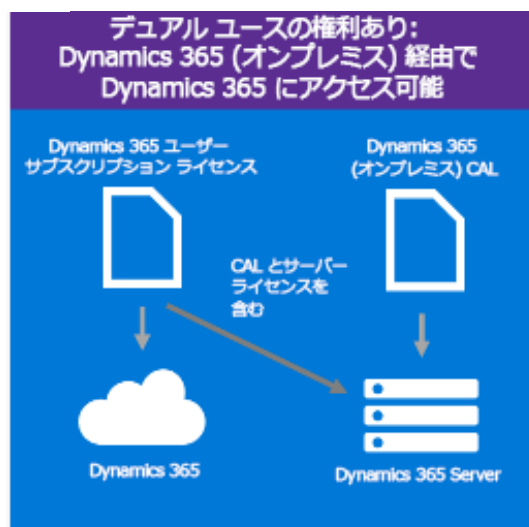
図 5: Customer Engagement Plan アプリケーションのデュアル ユースの権利の対応表

Dynamics 365 SKU	Dynamics 365 (オンプレミス) SKU
Dynamics 365 for Sales	Dynamics 365 for Sales (オンプレミス)
Dynamics 365 for Customer Service	Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス)
Dynamics 365 for Field Service	オンプレミスで利用できる適用可能な Field Service 機能
Dynamics 365 for Team Members	Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス)

デュアル ユースの権利は Dynamics CRM 2016 以降のサーバー ライセンスを通じて供与されるため、Dynamics CRM 2016 以降のライセンスのあるサーバーに対してしか、この権利を行使できません。ただし、ダウングレード権により条件を満たすサーバー ライセンスを使用して以前のバージョンの Dynamics CRM サーバーを実装した場合は、Dynamics 365 ユーザー SL を通じてデュアル ユースの権利を行使し、そのサーバーにアクセスすることができます。

Dynamics 365 SL に含まれるデュアル ユースの権利は非永続的なものであり、このクラウド サービスのサブスクリプション期間の満了と同時に失効します。

図 6: デュアル ユースの権利



ライセンス プログラム

Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンスは、マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムを通じて取得します。Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンスを購入できるのは以下のボリューム ライセンス プログラムです。

- Enterprise Agreement
- Enterprise Agreement Subscription
- サーバーおよびクラウド加入契約
- EES (教育ソリューション加入契約) – Campus/School Agreement に基づく
- School Enrollment
- マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA)
- Open
- Open Value
- Open Value Subscription
- Select Plus
- ISV Royalty
- Services Provider License Agreement (SPLA)

自身の組織に最適なプログラムを判断するには、組織のタイプと規模、ライセンスが必要なソフトウェア、そのソフトウェアの使い方を最初に見極める必要があります。[ボリューム ライセンス プログラムのしくみについては、こちらを参照してください。](#)

ボリューム ライセンス プログラムに加入するには通常、契約と登録のいずれか、あるいは両方を行い、最小購入要件を満たしたうえで、マイクロソフト製品販売店からライセンスを注文する必要があります。ボリューム ライセンス プログラムを通じた購入方法の確認や販売パートナーの検索などは、[マイクロソフト ボリューム ライセンスの Web サイト](#)で行えます。

言語別の提供状況

Dynamics 365 (オンプレミス) の国別の提供状況とローカライズの状況については、[こちらを参照してください。](#)

Dynamics 365 (オンプレミス) ライセンスの種類

Dynamics 365 では、ビジネス アプリケーションのライセンスの取得が簡素化されています。最も一般的なライセンスの取得形式は、指定ユーザー単位のサブスクリプションです。Dynamics 365 のサブスクリプション ユーザーは、"フル ユーザー" と "追加ユーザー" の 2 種類に分けられます。

フル ユーザーとは、ビジネス アプリケーションの幅広い機能が業務に不可欠なユーザーを指します。営業担当者、顧客サービス担当者、財務部門の従業員のほか、各部署の監督者、サプライ チェーン マネージャーなどが例として挙げられ、プロフェッショナル ユーザーやパワー ユーザーとも呼ばれます。Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンス モデルでは、フル ユーザーには Dynamics 365 (オンプレミス) の各アプリケーション ライセンスを取得します。Dynamics 365 (オンプレミス) にライセンス プランはありません。

追加ユーザーとは、基幹業務システムのデータやレポートを利用するほか、時間と経費の入力や人事記録の更新といった基本的な業務を行うユーザーを指します。このタイプのユーザーは、システムの使用頻度は高くても、フル ユーザーほどの機能を必要としません。一般に、組織内の大部分のユーザーはこのタイプに属します。こうした追加ユーザーには、Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス) ライセンスを割り当てます。

上記のほかに、デバイス ライセンスも提供しています。

Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス)

Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス) ライセンスは、特殊な機能を必要とせず、Dynamics 365 (オンプレミス) の基本的な機能のみが必要なユーザーのためのライセンスです。Dynamics 365 for Team Members ユーザー CAL には読み取りアクセスのフル権限に加え、一部の基本的なタスクに対する所定の書き込み権限が含まれます。このライセンスでは、本ライセンス ガイド内で明記しており、Dynamics 365 (オンプレミス) の全データに読み取り専用でアクセスできます。オンライン版の Dynamics 365 とは異なり、Dynamics 365 for Operations のオンプレミス版など、オンプレミス ソフトウェアへの読み取りアクセス権は含まれません。

Team Members に付与される Dynamics 365 (オンプレミス) の使用权

Dynamics 365 for Team Members ユーザー CAL は、Dynamics 365 (オンプレミス) に関する次の実行権をユーザーに付与します。この権利はユーザー本人が使用する目的で付与され、他のユーザーが代理で行使することはできません。

- (i) 任意の種類の時間を記録する
- (ii) 任意の種類の経費を記録する
- (iii) 個人情報を管理する
- (iv) 人事情報で、直接雇用の従業員の活動を管理する
- (v) 在庫要求を作成する
- (vi) 品質管理、サービス注文、部門別予算に関し、項目を作成または編集する
- (vii) 時間、経費、請求書を承認する

より詳細な Team Members の使用权一覧については、[付録 A](#) を参照してください。

カスタム エンティティ

Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス) および上位のライセンスには、カスタム エンティティの使用权があります。カスタム エンティティは、Dynamics 365 (オンプレミス) の標準のエンティティをベースに作成することも、お客様やパートナー様が新たに作成することも可能です。Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス) には、カスタム エンティティを新たに作成またはレプリケー

トする権利は含まれません。カスタム エンティティが Dynamics 365 (オンプレミス) の標準エンティティの機能をベースにしてレプリケートして作成されている場合や、Dynamics 365 (オンプレミス) の標準エンティティとリンクされている場合、そのエンティティにアクセスするユーザーには、複製元の標準エンティティにアクセスするためのライセンスも必要です。たとえば、チケット発行システムでケース エンティティをレプリケートして新たなエンティティを作成するには、ケースにアクセスするためのライセンスも取得する必要があります。つまり、ライセンスに基づきユーザーがアクセス可能なエンティティのみをカスタマイズできます。

Dynamics 365 (オンプレミス) のアプリケーション

アプリケーション サブスクリプションは、単一アプリケーションのライセンスのみをユーザーに付与するユーザー指定型のサブスクリプション契約です。ユーザーが複数のアプリケーションにアクセスする必要がある場合、アプリケーションごとのサブスクリプションが必要になります。Dynamics 365 (オンプレミス) には次のアプリケーションが含まれます。

- Dynamics 365 for Sales (オンプレミス)
- Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス)
- Dynamics 365 for Field Service (オンプレミス)

Dynamics 365 for Sales (オンプレミス)

営業チーム向けのアプリケーションである Dynamics 365 for Sales (オンプレミス) は、ライセンスを持つユーザーに対し、営業活動に欠かせない次のような機能を提供します。

- (i) 潜在顧客と営業案件の管理
- (ii) 製品の管理
- (iii) 価格表の管理
- (iv) 受注の管理
- (v) 営業グループの管理機能

ソフトウェア アシユアランスが有効であれば、各 Dynamics 365 for Sales (オンプレミス) CAL には統合サービス デスク (Unified Service Desk) の使用权も提供されます。また、このライセンスには Dynamics 365 for Sales (オンプレミス) アプリケーションの設定と管理を行う権利も含まれます。

Dynamics 365 for Sales (オンプレミス) に関連する使用权の詳細については[付録 A](#) を参照してください。

Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス)

Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス) はカスタマー サポート チームに最適なアプリケーションです。ライセンスを持つユーザーに対し、カスタマー サービスに欠かせない次のような機能を提供します。

- (i) サポート案件管理
- (ii) 対話型サービス ハブ
- (iii) SLA と利用資格
- (iv) サービス グループのその他の管理機能

ソフトウェア アシユアランスが有効であれば、各 Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス) CAL には統合サービス デスク (Unified Service Desk) の使用权も提供されます。また、このライセンスには Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス) アプリケーションの設定と管理を行う権利も含まれます。

Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス) に関連する使用权の詳細については、[付録 A](#) を参照してください。

Dynamics 365 for Field Service (オンプレミス) の機能

Dynamics 365 for Field Service (オンプレミス) は、オンプレミス用の独立したクライアント アクセス ライセンスとしては提供されていません。代わりに、Dynamics 365 for Field Service のユーザー サブスクリプション ライセンスを通じてデュアル ユースの権利を行使する場合に限り、オンプレミスの機能へのアクセス件が付与されます。

Dynamics 365 for Field Service のライセンスを持つユーザーは、(オンラインとオンプレミスの) 次の機能にアクセスできます。

- (i) 各種のフィールド サービス機能 (作業指示書の管理など)
- (ii) スケジュール
- (iii) 派遣
- (iv) ルート指定機能
- (v) 修理と返品管理
- (vi) 在庫管理

このほかに、オンライン版の Dynamics 365 for Field Service のユーザー SL にはオンライン専用の権利が含まれています。また、このライセンスには Dynamics 365 for Field Service アプリケーションの設定と管理を行う権利も含まれます。

このユーザー SL には、Field Service モバイル アプリケーションの使用権も含まれています。これは Dynamics 365 for Field Service に特化したマイクロソフト アプリケーションで、モバイル用 Dynamics CRM アプリとは異なります。このアプリケーションでは技術上の制約により、Field Service のエンティティおよび最大 10 個のカスタム エンティティのみがサポートされます。

オンプレミス環境に適用可能な Dynamics 365 for Field Service 関連の使用権の詳細については、[付録 A](#) を参照してください。このガイドにはオンプレミスで利用可能な機能のみが記載されています。オンライン ユーザー ライセンスの全使用権の一覧については、『[Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)』を参照してください。

注: Dynamics 365 (オンプレミス) CAL を割り当てたユーザーやデバイスは、Outlook 用 Microsoft Dynamics 365、Microsoft Dynamics 365 Web アプリケーション、モバイル用 Microsoft Dynamics 365 アプリ、タブレット用 Microsoft Dynamics 365 アプリなど、各種の Dynamics 365 (オンプレミス) クライアント アプリケーションを使用してソリューションの機能にアクセスできます。

各ユーザー CAL には任意のアクセス方法による Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) へのアクセス権が含まれ、追加のライセンス料は発生しません。

管理ユーザー

Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) サーバー ライセンスでは、インスタンスの管理目的に限り、最大 2 台のデバイスまたは 2 名のユーザーがサーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスできます。この数は CAL の利用にはカウントされません。

Dynamics 365 (オンプレミス) の CAL の比較

次の表に、各ライセンス タイプに関連付けられた使用権の概要を示します。詳細な比較については [付録 A](#) を参照してください。

	Team Members	Sales	Customer Service
Dynamics 365 (オンプレミス版 Sales および Customer Service) のデータ	○	○	○
アカウントと連絡先、活動、メモ	●	●	●
ナレッジ マネージメント、対話型サービス ハブ	●	●	●
カスタム エンティティ	● ¹	● ¹	● ¹
ワークフローとオンデマンド プロセスの実行	● ²	● ²	● ²
ポータルのみ: (エンド カスタマーのエージェントとしてではなく) 自身の問題に関するセルフサービスでのサポート依頼	● ³	● ³	● ³
ポータルのみ、非従業員のみの: 営業案件の作成と更新	● ³	● ³	● ³
ユーザー用のレポート、ダッシュボード、チャート	●	●	●
システム用のレポート、チャート、ダッシュボードの構成	×	○	○
潜在顧客、営業案件、目標、契約、見積もり、受注、請求書、競合情報	○	●	○
セールス キャンペーン、簡易キャンペーン、マーケティング リスト、価格表、製品リスト	○	●	○
統合サービス デスク (USD)	○	● ⁴	● ⁴
サポート案件のフル管理、サービス、リソース、稼働時間、設備、備品、記事	○	○	●
ワークフローの作成、データの一括インポート、アプリケーション内の全エンティティのカスタマイズ	×	○	○

● フル アクセス権 ○ 読み取り専用/制限付きアクセス権 × アクセス権なし

- ¹ カスタム エンティティ (Dynamics 365 (オンプレミス) の標準ベースまたはお客様やパートナー様が作成したエンティティ) の使用には、必要なアクセス権に応じて、より上位の CAL または USL を必要とする場合があります。使用権のあるエンティティに対してのみカスタマイズを行えます。
- ² ワークフローを介した作成、更新、削除は、使用権に含まれるエンティティに対してのみ実行可能です (例: 営業案件の更新には Sales ライセンスが必要)。
- ³ Dynamics 365 (オンプレミス) のユーザー インターフェイスにはアクセスできません。ケース管理とチャットの送信は、本人が (サポート利用者として) 利用する場合にのみ行うことができ、顧客や他のユーザーの代理では利用できません。
- ⁴ 条件を満たす Sales または Customer Service の CAL に対する有効なソフトウェア アシュアランスが必要です。

上位の CAL へのステップアップ

Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) では、ステップアップ ライセンスを利用することで下位の CAL から上位の CAL に移行できます。ステップアップ ライセンスを利用するには、ソフトウェア アシュアランスが維持されている必要があります。ステップアップ ライセンスは下位のエディションを上位のエディションに簡単に移行できる手段で、ソフトウェアの 2 つのエディションのライセンスを個別に購入する場合と比べてコストを低く抑えられます。ステップアップ ライセンスの詳細については「[ライセンス簡易ガイド](#)」を参照してください。

利用可能なステップアップ ライセンスは次のとおりです。

ステップアップ前	ステップアップ後
Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス) CAL	Dynamics 365 for Sales (オンプレミス) CAL
Dynamics 365 for Team Members (オンプレミス) CAL	Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス) CAL

図 7: 上位の CAL へのステップアップ



追加サービスとソフトウェア

Dynamics 365 (オンプレミス) には、連携して利用できる追加のサービスやソフトウェアがあります。統合サービス デスクなどがその例です。

統合サービス デスク (USD)

Microsoft Dynamics 365 の統合サービス デスク (USD: Unified Service Desk) は、さまざまなコミュニケーション チャネル (電話、チャット、電子メール、ソーシャル メディアなど) と関連するサービスを 1 つのインターフェイスに統合し、効率と生産性を高める働きをします。

USD は独立したライセンスとしては提供されません。USD のソフトウェアは、ユーザーのデバイスにローカルにインストールされ、実行されます。使用権をもたらすユーザー SL やソフトウェア アシュアランスのサブスクリプションの期間が終了すると、使用権が終了します。ライセンスを付与されたユーザーのみがこのソフトウェアを使用できます。USD のインストール権は、Dynamics 365 for Sales (オンプレミス) および Dynamics 365 for Customer Service (オンプレミス) の CAL に含まれています。

その他の製品のライセンス

Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) を運用するための技術要件の詳細については、Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) の実装ガイドを参照してください。Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンスには、インストールに他の製品が必要となる場合でも、こうした製品のライセンスは含まれていません。該当する製品の使用権は別途有効化しておく必要があります。

Dynamics 365 (オンプレミス) の実装ガイドとシステム要件は [TechNet](#) でご覧ください。必要なライセンスを確認する場合は、[Microsoft License Advisor ツール](#) をご利用ください。

追加ソフトウェア

Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) のレポート拡張機能は、Microsoft SQL Server Reporting Services 上にインストールできるデータ処理用の拡張機能です。Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンスを取得したお客様には Dynamics CRM のレポート拡張機能が提供され、SQL Server Reporting Services Server に対し、Dynamics 365 (オンプレミス) ライセンスを追加で取得する必要はありません。

トライアル

マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムに未加入の新規のお客様とパートナー様は、Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) の評価版ソフトウェアを利用できます。

Dynamics 365 (オンプレミス) と Dynamics CRM 2016 の全エディションの評価版は、[マイクロソフト ダウンロード センター \(CRM 2016\)](#) で提供しています。現在提供しているのは Dynamics CRM 2016 の評価版のみですが、2016 年 12 月更新プログラムを適用し、[Dynamics 365 \(オンプレミス\) にアップグレード](#)することも可能です。

Dynamics CRM 2016 試用版 + Dynamics 365 (オンプレミス) への更新プログラム

- Dynamics 365 (オンプレミス) への更新プログラムを適用されたユーザー向けに、Dynamics CRM Server 2016 のライセンス キーが含まれます。ユーザー数に制限はありません。
- 有効期限は 90 日間です。
- Dynamics 365 展開マネージャーに有料のプロダクト キーを入力することで通常版に移行できます。

Dynamics 365 (オンプレミス) の評価版を利用する際は、次の点にご注意ください。

- 評価版のライセンス キーは評価版のダウンロード サイトに掲載されています。
- **重要:** 評価期限が近づくと管理ユーザーに警告が表示されるようになります。有料ライセンスに切り替えるかどうか余裕を持って決定するようにしてください。90 日間の評価期間は延長できません。
- お客様またはパートナー様による評価に 90 日以上かかる場合は、適切な数の Dynamics 365 (オンプレミス) CAL を購入できます。

次の表で示すように、評価版ソフトウェアはボリューム ライセンス、BRL、MSDN、TechNet、MPN、ISV の各ライセンスに切り替えられます。

移行後→ 移行前↓	MSDN/ TechNet	ボリュームライセンス と MPN	ISV Royalty	SPLA
有効期限付き/ 90 日の評価版	●	●	●	●
MSDN/TechNet	●	●	●	●
ボリュームライセンス と MPN			●	●
ISV Royalty		●		●
SPLA		●	●	

なお、Workgroup Server の評価版の詳細については、「[Dynamics CRM オンプレミス ライセンス ガイド](#)」を参照してください。Workgroup Server は Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンス オプションとしてサポートされていないため、切り替え先には選択できません。

ソフトウェア アシュアランス

マイクロソフト ソフトウェア アシュアランスは、従業員の生産性向上、ソフトウェア展開の効率化、コスト削減に役立つ各種の主要特典を集めたプログラムです。新バージョンのソフトウェアの使用権やプランニング サービス、電話と Web による 24 時間 365 日体制のサポート、トレーニングなど、ボリューム ライセンス プログラムのメリットを最大限に活用できるように工夫された特色あるさまざまな特典が含まれます。

Open、Open Value、Open Value Subscription、Enterprise Agreement、Enterprise Subscription Agreement、教育ソリューション加入契約を通じて Dynamics 365 (オンプレミス) を購入した場合、お客様のライセンスにはソフトウェア アシュアランスが含まれています。

お客様に実際に提供されるソフトウェア アシュアランス特典は、ボリューム ライセンス プログラムによって異なります。お客様の組織で利用可能なソフトウェア アシュアランス特典の詳細については、次に示すリソースとツールを参照してください。

Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) のソフトウェア アシュアランスがもたらす具体的なメリットについては、<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx> にアクセスしてください。インタラクティブな特典チャートで、Dynamics 365 (オンプレミス) のソフトウェア アシュアランス特典について詳しく説明します。また、<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx#tab=3> では、購入後のお客様の特典をご確認いただけます。

製品の展開

既存のお客様を対象とした移行オプションの詳細については、Dynamics 365 の移行ガイドを参照してください。

ソフトウェアの入手方法

[ボリューム ライセンス サービス センター](#) (VLSC) では、ライセンスを取得した製品のダウンロードやプロダクト キーの入手のほか、ボリューム ライセンス契約およびライセンス取得作業の管理など、さまざまな処理をオンラインで一元管理できます。マイクロソフトの販売代理店から物理メディアを購入することもできます。

Dynamics 365 (オンライン) のライセンスを取得済みで VLSC にアクセスできないお客様が、デュアルユースの権利を利用してハイブリッド環境を構築する場合は、[CustomerSource \(英語\)](#) または [PartnerSource \(英語\)](#) からソフトウェアを入手できます。

ライセンス キーと製品のライセンス認証

Dynamics CRM 2016 および Dynamics 365 (オンプレミス) への更新プログラムのメディアをボリューム ライセンス プログラム経由で取得すると、メディア内にライセンス キーが埋め込まれています ("キー設定済み*" のメディア)。インストール時にライセンス キーを入力する必要はありません。

ライセンス キーを確認するには、メディアに含まれているインストール ファイルで「\server\amd64\license.txt」というファイルを検索します。

チャネル別のライセンス キーの入手方法

	90 日間の評価版 ライセンス キー	MSDN/ TechNet	MPN	ボリューム ライセンス	SPLA	ISV Royalty
エディション	CRM Server + Dynamics 365 への更新プログラム	CRM Server + Dynamics 365 への更新プログラム	CRM Server + Dynamics 365 への更新プログラム	CRM Server + Dynamics 365 への更新プログラム	サービス プロバイダー (CRM Server + Dynamics 365 への更新プログラム)	CRM Server + Dynamics 365 への更新プログラム
ライセンス キー	未設定*	未設定	未設定	設定済み	設定済み	設定済み
ライセンス キーの取得方法	マイクロソフトの評価版ダウンロード Web サイトからユーザーがメディアをダウンロード 同 Web サイト上に掲載されている 90 日間有効なライセンス キーを使用	MSDN 会員によるダウンロードのみ。ライセンス キーは MSDN/TechNet のダウンロード サイトから入手 サイト上でプロダクト キーへのリンク ボタンをクリックし、プロダクト キー一覧にアクセス Workgroup/CRM Server のキーを参照可能	パートナー様向けのデジタル配布ポータルからパートナー様がダウンロード	ライセンス キーをメディア内に同梱 (メディア上の印刷またはシールでの表示はなし。VLSC でのキーのみの取得は不可)	explore.ms でメディアを発注	explore.ms でメディアを発注
メディア	ダウンロードのみ	ダウンロードのみ MSDN TechNet	ダウンロードのみ MSPPDD MSDN TechNet	DVD とダウンロード	DVD とダウンロード	DVD とダウンロード
登録	不要	不要	不要	不要	不要	不要
アップグレード時に再登録	不要	不要	不要	不要	不要	不要
ユーザーエクスペリエンス	マイクロソフトのダウンロードサイトからユーザーが評価版をダウンロード。評価版のプロダクト キーはダウンロードサイトに掲載	ユーザーが MSDN サブスクリプションを購入し、Xena ダウンロード サイトからソフトウェアをダウンロード	パートナー様にウェルカム キットを提供。内部用のプロダクト キーを PMC 上で入手。開発用と評価用のプロダクト キーを、それぞれ MSDN と	VLSC からメディアをダウンロード。物理メディア (DVD) を販売代理店から購入することも可能	サービス プロバイダーが SPLA 契約を、お客様がプロバイダーとサービス契約を締結。プロバイダーは MOET (Microsoft Online Order Entry Tool) で毎月の使用状況を報告	ISV が explore.ms (MOET) で専用メディアを発注し、"統合ビルド"を作成。プロダクト キーはメディアに同梱

			TechNet から入手 することも可能			
--	--	--	-------------------------	--	--	--

さまざまな技術的アップグレードパスの詳細については、[こちらの記事](#)を参照してください。

オンプレミス版のアップグレード/ダウングレード、移行

技術的アップグレードパス

オンプレミス サーバーから Dynamics 365 Server へのアップグレードの詳細については、[こちら](#)の手順を参照してください。

ライセンスのアップグレードパス

2016 年 12 月 1 日時点でソフトウェア アシュアランス プランの保証対象のお客様は、ライセンス更新時に Dynamics CRM 2015 を Dynamics CRM 2016 にアップグレードできます。詳細は次のとおりです。

条件を満たす Dynamics CRM 2015 のライセンス	対応する Dynamics 365 (オンプレミス) への更新プログラムのライセンス (各 CAL に対してソフトウェア アシュアランスの購入が必要)
Dynamics CRM 2015 Professional CAL	Dynamics 365 (オンプレミス) Sales CAL × 1 Dynamics 365 (オンプレミス) Customer Service CAL × 1
Dynamics CRM 2015 Basic CAL	Dynamics 365 (オンプレミス) Sales CAL × 1 Dynamics 365 (オンプレミス) Customer Service CAL × 1
Dynamics CRM 2015 Essential CAL	Dynamics 365 (オンプレミス) Team Members CAL × 1
Dynamics CRM Workgroup Server 2015	CAL に含まれる Dynamics 365 (オンプレミス) Server
Dynamics CRM Server 2015	CAL に含まれる Dynamics 365 (オンプレミス) Server

Dynamics CRM の各バージョンへのダウングレードパス

旧バージョンの Dynamics CRM 間の詳しいダウングレードパスについては、[Microsoft Dynamics 365 Community サイト \(英語\) 等](#)を参考にしてください。

ボリューム ライセンス プログラムを通じた Dynamics 365 (オンプレミス) からのダウングレードパス

条件を満たす Dynamics 365 (オンプレミス) のライセンス	対応する Dynamics CRM 2016 のライセンス
Dynamics 365 (オンプレミス) Server (2016 年 12 月更新プログラム) × 1	Dynamics CRM Server 2016 × 1
Dynamics 365 (オンプレミス) Sales CAL × 1 または Dynamics 365 (オンプレミス) Customer Service CAL × 1	Dynamics CRM 2016 Professional CAL × 1 または Dynamics CRM 2016 Basic CAL × 1
Dynamics 365 (オンプレミス) Team Members CAL × 1	Dynamics CRM 2016 Essential CAL × 1

オンプレミス環境からクラウド環境への移行

Dynamics 365 (オンプレミス) CAL を購入済みでソフトウェア アシュアランス (SA) の保証が有効な場合は、Cloud Add-on または From SA のいずれかのユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) を通じて、Dynamics 365 (オンライン) へのアクセス権を取得できます。オンプレミス製品をご購入済みのお客様への特典として、どちらのライセンスも Dynamics 365 (オンライン) の正規料金に標準の割引を適用して提供されます。このオンライン サービスの使用権は非永続的で、所定の契約期間

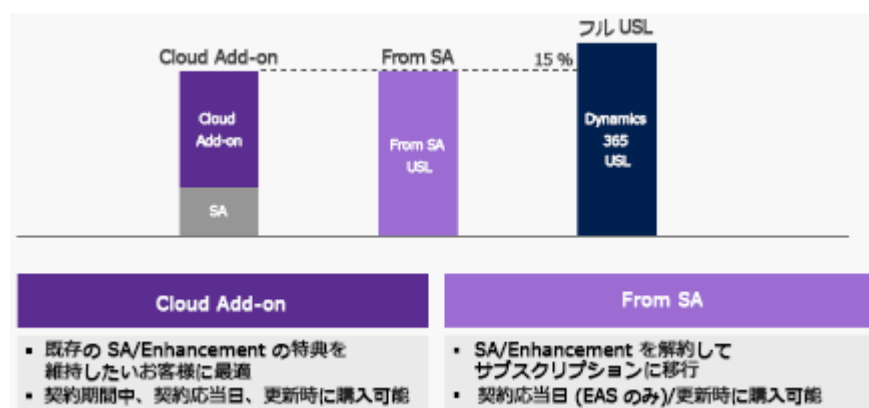
のみ有効です。いずれのライセンスにもデュアル ユースの権利が含まれ、ハイブリッド環境がサポートされます。

Add-on URL と From SA URL には、同等のフル ユーザー サブスクリプション ライセンス (フル URL) とまったく同じ使用権が付与されます。

Enterprise Agreement またはエンタープライズ加入契約を通じて購入されたデバイス CAL は、前述の Add-on URL または From SA URL と 1 対 1 の価値があると見なされます。つまり、デバイス CAL 1 件につき、From SA URL または Add-on URL を 1 件購入可能です。

From SA ライセンスは、マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムの Enterprise Agreement、Enterprise Subscription Agreement、教育ソリューション加入契約 (Campus/School Agreement に基づく) の各プログラムを通じて購入できます。

Add-on ライセンスは、マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムの Enterprise Agreement、Enterprise Subscription Agreement、マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA)、教育ソリューション加入契約 (Campus/School Agreement に基づく) の各プログラムを通じて購入できます。



Dynamics 365 Cloud Add-on

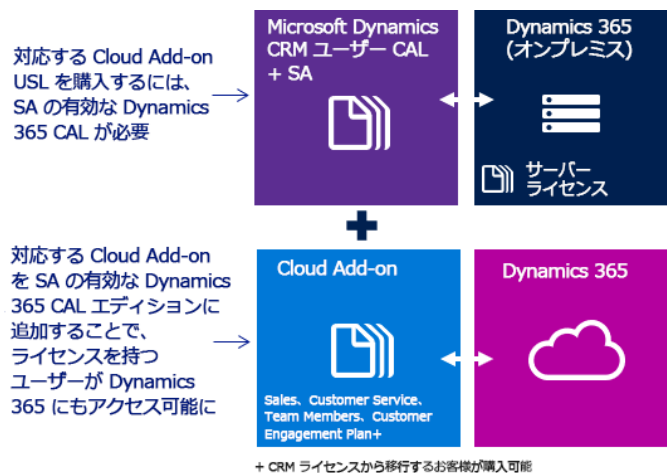
クラウド移行用の Dynamics 365 Add-on ライセンスは、まだ完全にはクラウドに移行できないお客様や、現在の契約期間が残っているお客様に適しています。Cloud Add-on では、SA への継続的な支払額がライセンス価格から差し引かれます。

Cloud Add-on モデルでは次の 2 種類の契約を並行して締結します。

1. お客様によって引き続き維持/更新される、新規または既存のソフトウェア アシユアランス契約
2. Dynamics 365 Online サービスの使用権を付与する、追加の Cloud Add-on ライセンス契約

Add-on ユーザー SL は、元となるユーザー CAL と同一のユーザーに割り当てる必要があります。このユーザー SL の割り当て後に権利を別のユーザーに移転する場合は、対応する CAL も同時に新たなユーザーに移転しなくてはなりません。

図 8: Dynamics 365 Cloud Add-on



Dynamics 365 From SA

Dynamics 365 From SA ライセンスは、すぐにでも SA を完全に解約し、クラウド ライセンスに移行できるお客様に適しています。

このライセンスは、既にオンプレミス ソリューションのライセンスを取得し、クラウドへの移行を希望しているマイクロソフトの既存のお客様を対象とするライセンスです。オンプレミス製品をご購入済みのお客様への特典として、From SA USL は割引価格で提供されます。From SA USL を購入するためには、条件を満たすライセンスの料金が全額支払われている必要があります。具体的には、移行先と対応するオンプレミス版のライセンスか、条件を満たした 3 年以上のソフトウェア サブスクリプション ライセンスが支払い済みでなくてはなりません。使用条件を満たすライセンスの詳細については「製品条項」を参照してください。

From SA は、契約応当日または更新時 (EAS の更新のみ) に購入できます。

追加情報へのリンク

リソース	内部向けリンク	外部向けリンク	パートナー様向けリンク
Dynamics 365	https://microsoft.sharepoint.com/sites/Infopedia_G01/Pages/DynamicsHub.aspx	https://dynamics.microsoft.com/ja-jp/	https://mbs.microsoft.com/partnersource/northamerica/products/365Enterprise (英語)
Dynamics 365 のライセンスと価格	https://microsoft.sharepoint.com/sites/Infopedia_G01/Pages/DynamicsHub.aspx#Dynamics%20365:pricing	https://dynamics.microsoft.com/ja-jp/pricing/	https://mbs.microsoft.com/partnersource/northamerica/pricing-ordering/licensing-policies/Dyn365PricingandLicensing (英語)
Dynamics AX ライセンス ガイド	http://aka.ms/s201h6 (英語)		
Dynamics CRM Online ライセンス ガイド	https://mbs.microsoft.com/customersource/global/CRM/learning/documentation/user-guides/CRM-Online-Licensing-Guide (英語)		
Dynamics AX 2012 ライセンス ガイド	http://aka.ms/dujlkms (英語)		
Dynamics CRM 2016 ライセンス ガイド	http://aka.ms/kn26ux		
Dynamics 365 (オンプレミス) ライセンス ガイド	https://microsoft.sharepoint.com/sites/infopedia/pages/layouts/kcdoc.aspx?k=g01kc-1-20258		http://download.microsoft.com/download/5/6/0/560C4744-EF9F-4401-A620-12B5E9A520CB/Dynamics_365_On-Premises_Enterprise_edition_Licensing_Guide.pdf
Dynamics 365 for Operations (オンプレミス) ライセンス ガイド	https://mbs.microsoft.com/Files/public/365/DynamicsOperationsOnPremEnterprise.pdf (英語)		
Dynamics ブログ	https://community.dynamics.com/b/dynamicsblog-ja-jp		
マイクロソフト ボリューム ライセンス	http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/		
ソフトウェア アシュアランス	https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx		
Microsoft License Advisor Dynamics 365 サポート サービス	http://mla.microsoft.com/default.aspx?language=Japanese&country=JP		
CustomerSource	https://dynamics.microsoft.com/ja-jp/support/plans/		
PartnerSource	https://mbs.microsoft.com/customersource/ (英語)		
パートナー センター	https://mbs.microsoft.com/partnersource/ (英語)		
パートナー センター	https://partnercenter.microsoft.com/ja-jp/pcv/dashboard/overview		
マイクロソフト ダウンロード センター	http://www.microsoft.com/ja-jp/download		
クラウド ソリューション プロバイダー (CSP) プログラム	https://partner.microsoft.com/ja-JP/cloud-solution-provider		

付録 A: CAL に含まれる使用権

次の表に、Dynamics 365 Customer Engagement アプリケーションの各クライアント アクセス ライセンス (CAL) およびデバイス CAL で提供される使用権の一覧を示します。

なお、Team Members の使用権の多くを有効化するには、該当するサービスの構成と管理を行うために、フル ユーザー ライセンス (Dynamics 365 for Sales、Dynamics 365 for Customer Service、Dynamics 365 for Field Service) が必要になります。

表内の黒丸は、特に記載がない限り、作成/読み取り/更新/削除のフル権限を表します。

注: Field Service (オンプレミス) の機能は、Field Service ユーザー SL によって提供されます。

使用権	Team Members	Sales	Customer Service	Field Service
アカウントと連絡先	●	●	●	●
活動とメモ	●	●	●	●
アカウントや連絡先へのつながり (関係者、営業チーム) の追加と削除	●	●	●	●
Dynamics 365 (オンプレミス) の管理		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
サポート案件管理			●	
サポート チームとのチャット (チャット クライアントとして サードパーティ製ソリューションを各自で用意)	●	●	●	●
競合情報		●		
スケジュール ボードの構成と表示				●
監査の構成		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
重複データ検出ルールの構成		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
SLA ポリシーの構成			●	
契約テンプレート			●	
契約			●	
活動をサポート案件に変換			●	
活動を営業案件に変換		●		
修理および返品登録と管理 (RMA/RTV)				●
通知の登録と更新	●	●	●	●
Dynamics CRM のフォーム、エンティティ、フィールドの作成		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
ナレッジベースの作成、公開、構成	●	●	●	●
サポート案件の登録、読み取り、更新、再割り当て、キューへの追加、転送、解決、削除			●	
レポートの登録、更新、カスタマイズ、生成	●	●	●	●
顧客資産管理				●
フォームとビューのカスタマイズ		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
部署の定義と構成		●		
ダイアログの定義と構成		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
キューの定義と構成		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
サービス、リソース、稼働時間の定義と構成			●	
チームの定義と構成		●		
ワークフローの定義と構成		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
エンティティ間のつながりと関係の定義		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
モバイル用 Microsoft Dynamics 365 アプリ	●	●	●	●
電子メールと Word のテンプレート		●	●	●
利用資格			●	
Microsoft Excel へのデータのエクスポート	●	●	●	●

使用権	Team Members	Sales	Customer Service	Field Service
設備/備品			●	
Field Service モバイル アプリケーション ¹				●
目標		●		
データの一括インポート		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
対話型サービス ハブ	●	●	●	●
在庫管理				●
請求書		●		
請求書				●
リードの管理		●		
リソース (設備/備品/人員)、担当地域、作業時間の管理				●
マーケティング キャンペーン		●		
マーケティング リスト		●		
タブレット用 Microsoft Dynamics 365 アプリ	●	●	●	●
Outlook 用 Microsoft Dynamics 365	●	●	●	●
Microsoft Dynamics 365 Web アプリケーション	●	●	●	●
営業案件		●		
受注		●		
宛名の差し込み	●	●	●	●
個人用ビュー、保存されたビュー	●	●	●	●
ポータルまたは API 経由のアクセスのみ/非従業員のみ: 営業案件の作成と更新	●	●	●	●
ポータルまたは API 経由のアクセスのみ/非従業員のみ: 作業指示書の更新	●	●	●	●
ポータルまたは API 経由のアクセスのみ: 従業員セルフ サービス – サポート案件の送信および自身が (サポート クライアント/顧客として) 送信したサポート案件の更新	●	●	●	●
アクティビティ フィードの投稿とフォロー	●	●	●	●
価格表		●		
製品		●		
発注書				●
有望な潜在顧客の選別と営業案件への変換		●		
簡易キャンペーン		●		
見積もり		●		
Dynamics 365 (オンプレミス) の全アプリケーション データの読み取り	●	●	●	●
カスタム エンティティ データの読み取り	●	●	●	●
自動化されたワークフローの実行	● ⁺	● ⁺	● ⁺	● ⁺
オンデマンド プロセスの実行	● ⁺	● ⁺	● ⁺	● ⁺
営業資料		●		
スケジュール/派遣機能: スケジュール アシスタントの利用、ドラッグ アンド ドロップによる割り当て、リソース予約の更新				●
検索、高度な検索	●	●	●	●
サービス契約				●
共有カレンダー	●	●	●	●
ダイアログの開始	● ⁺	● ⁺	● ⁺	● ⁺
システム レポート、グラフ、ダッシュボード		アプリのみ	アプリのみ	アプリのみ
担当地域		●		

使用権	Team Members	Sales	Customer Service	Field Service
統合サービス デスク (USD)~		●	●	
プロジェクト サービス自動化のプロジェクト タスクの更新	●	●	●	●
キュー アイテムの使用	● ⁺	● ⁺	● ⁺	● ⁺
レコード間の関係とつながりの使用	● ⁺	● ⁺	● ⁺	● ⁺
Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) のインターフェイス統合の使用		●	●	●
レポート、グラフ、ダッシュボードの使用	●	●	●	●
お知らせの表示	●	●	●	●
作業指示書				●
カスタム エンティティ レコードへの書き込み	● [^]	● [^]	● [^]	● [^]
Yammer によるコラボレーション*	●	●	●	●

* Microsoft Dynamics 365 内で Yammer を使用するためには、Yammer Enterprise のライセンス (別途購入) が必要です。

+ 使用権のあるエンティティのレコードにのみアクションを実行できます。

^ カスタム エンティティ (Microsoft Dynamics 365 (オンプレミス) の標準ベースまたはお客様やパートナー様が作成したエンティティ) の使用には、必要なアクセス権に応じ、より上位のユーザー ライセンスまたは CAL を必要とする場合があります。使用権のあるエンティティに対してのみ、カスタマイズを行えます。

~ 統合サービス デスク (USD) を利用するには、条件を満たす Sales または Customer Service の CAL に対する有効なソフトウェア アシユアランスが必要です。

表内の "アプリのみ" とは、対象の使用権がライセンス取得済みのアプリケーションのみに適用され、他のアプリケーションには適用されないことを示します。

¹ このアプリケーションでは、技術上の制約により Field Service のエンティティおよび最大 10 個のカスタム エンティティのみがサポートされます。

付録 B: 変更履歴

ページ	項目	変更点	対応	日付
12、13	ライセンス キー	更新	"ライセンスの取得方法" の行を修正	2019 年 1 月
全般	その他	調整		2019 年 1 月
全般	一般	書式変更		2018 年 4 月
全般	ブランディング	更新	"Enterprise" とエディションをソフトウェア名から削除	2018 年 4 月
14	ダウングレード パス	修正	Dynamics 365 for Sales または ("+" を置き換え) Dynamics 365 for Customer Service	2017 年 9 月

© 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトの代理店を通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。